

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和4年3月25日発行

No.13

友との学びを振り返る

学校長 萬谷 隆一

コロナ禍と気候変動で、今年も気の休まらない日々が続きましたが、附属札幌中学校の生徒は、元気よく、毎日一生懸命、学習と学校生活に取り組んできました。

1年生は初めての中学校生活を1年過ごし、入学の時と比べて、大きく成長したものと思います。新学期は、いよいよ2年生となり、まさしく学校の中核として、日々の学習や生活、行事等に取り組む時期となります。下級生である1年生が入ってくると、「先輩」と呼ばれるようになります。なお一層自分を高めて、学校全体をけん引する存在になってほしいと願っております。

2年生は、新学期からいよいよ最高学年の3年生となり、後輩たちを指導する立場となります。これまでの経験と知恵で、頼りがいのある先輩として、ぜひ1年生、2年生をリードして行ってほしいと思っております。皆が楽しみにしている修学旅行の準備も進みます。行き先、時期など予断は許せませんが、実現に向けて最大限の努力を続けていきたいと思っております。ご家庭には、いろいろとご協力、ご支援をいただくことも多いかと思います。どうかよろしくお願い申し上げます。

さて、本校では年度を振り返るために、例年、生徒アンケートを実施しています。その結果から、生徒が学校生活や学習について感じていること、考えていることが伝わってきます。概ね、生徒は学校生活を楽しみ、多くを学ぼうとしている様子が分かり、心強く思っておりました。とりわけ、印象的だったのは、「授業は学び合いや話し合いが多く、自分の考えを述べたり、人の話を聞けたりするので、学びがいがある」という項目でほとんどの生徒(97%)が賛成していたということです。

コロナ禍の中、密を避けるということから、平時ほどには、十分な話し合いができる環境にはなかったのですが、そんな中でもこれだけの生徒が、仲間と意見を交わしながら学ぶことに学びがいを見出していたことは、たいへん印象的な結果でした。見方を変えると、コロナ禍で、コミュニケーションに飢えている生徒が多かったからとも考えられますが、いずれにせよ、仲間との知的な、あるいは情意的なインタラクションから多くを得たという生徒が多かったわけです。

そのことは、学校という場の意味を再確認させてくれました。学校は、一人一人が個々に知識を注入する場ではないと思っております。仲間と切磋琢磨し、心の交流をすることで、学びが深まる、それこそが学校に行く意味で



あると思います。生徒たちには、この1年間の、友と語り合ったこと、一緒に頑張ったこと、一緒に笑ったことをじっくり思い出しながら、自分が何を学んだかを振り返ってほしいと思っています。

春から、学年が上がり、また新しい仲間が増えます。生徒たちには、新たな切磋琢磨と、心の交流を通じて、一段上のレベルの学びを、仲間と創造して行ってほしいと願っております。新年度においても、お子様がなお一層、集団の中で成長できるよう、学校をあげて取り組んで参りますので、保護者の方々におかれましても、どうぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■離任する教職員からの言葉

3月をもちまして、以下の教職員が本校から転出・退任することとなりました。離任する教職員からの言葉を紙面にて紹介させていただきます。

新井 拓 主幹教諭	(国語科・8年)
田丸 道子 教諭	(家庭科・3年)
高村 克徳 教諭	(保健体育科・2年)
山田 明夏 教諭	(特別支援・5年)
今井 大貴 講師	(理科・2年)
雨宮 かさね 講師	(特別支援・2年)
濱 圭佑 講師	(特別支援・1年)
秋元 風雅 講師	(特別支援・1年)
佐藤 享 参事	(2年)
根本 利雄 用務員	(1年)
仙名 いく美 校務補	(4年)

新井 拓 主幹教諭

附属札幌中学校の理念である「共創の学校」のもと、生徒・保護者の皆様と共に過ごした8年間は、自分の教員人生の宝物になりました。学校という存在が、多くの方の願いの詰まった場所だということを改めて実感する日々でした。やる気に満ちた生徒とともに創り上げる毎日の授業、保護者の皆様と力を合わせて行ったPTA活動、全てが良い思い出です。この2年間はコロナ禍により、歯がゆく感じるが多々ありましたが、新しい附属中学校の姿も徐々に形作られています。今後も益々の発展をお祈りしております。結びになりますが、これまで様々な場面でご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

田丸 道子 教諭

にこやかに、元気に、礼儀正しくあいさつをする生徒の皆さんと顔を合わせるのが、毎日楽しみでした。日常生活や学校行事の中で、どんなことにも力を尽くそうとする皆



さんが眩しく感じました。家庭分野の授業で、皆さんが実際の生活と結びつけながら考え、取り組む姿から、私自身も新しい発見をすることができました。附属中学校に来てから今までがあっという間に感じるほど、充実した3年間でした。生徒の皆さんの頑張りを見て元気をもらい、保護者の皆様に温かいお言葉をかけていただきながら3年間を過ごせたこと、大変ありがたく思っています。本当にありがとうございました。これからも、皆さんが充実した生活を送れるよう応援しています。

高村 克徳 教諭

附属中学校では、何事にも全力で取り組む生徒たちからたくさんのパワーをもらいました。コロナ禍においても、生徒たちは決して悲観せず、前向きに学校生活を送り、自分の可能性を広げようと様々なことに挑戦していました。大人の心配をよそに突き進んでいく生徒たちからたくさんの感動ももらいました。彼らに出会えて本当に良かったと思えた2年間でした。また、保護者の皆様にも温かく支えていただきました。校外学習での送迎、学年懇談会へのご参加、オンライン授業の参観など多くの場面で本校の教育活動に携わっていただきました。生徒たちが安心して学校生活を送ることができるのもこのような保護者の皆様の支えがあってのものだと強く感じます。これまで本当にありがとうございました。私は4月から新天地へと旅立ちますが、保護者の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動にお力添えいただけましたら幸いに存じます。

山田 明夏 教諭

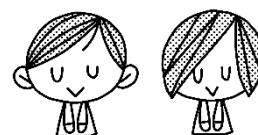
私にとって附属札幌中学校は、2校目の学校でした。1校目の任期はあっという間に過ぎましたが、ここでは、毎日『どうしたら楽しい学級になるのか』、『どうしたら子どもたちが楽しめる授業になるか』を改めてたくさん考えました。そして、子どもたちにとって、どうやったら『学校』がそれぞれの『居場所』になるのかも考えました。自分が通った、自分の中にある『学校』をベースに考えるのではなく、常に子どもの目線に立って、どんな場所なら「今日も楽しみ」と思えるのか、たくさん考える機会をいただきました。附属中の子どもたち、とりわけD組の子どもたちにとって、「今日も楽しみ」と思える場所を作ることができていたのか、しっかりと振り返りながら、次の学校でも頑張っていきます。5年間、ありがとうございました。

今井 大貴 講師

2年間ありがとうございました。私にとって附属札幌中学校が初めての勤務校でした。緊張した状態で始まり、直後に休校となるなど、コロナ禍により制限されることが多い2年間でしたが、生徒の皆さんと楽しく、笑顔の多い日々を過ごすことができました。それは、保護者の方々に様々な場面でご支援していただいたからです。ありがとうございました。授業では生徒の皆さんの楽しむ姿が印象的で、鋭い考えに驚き、一緒に学び、成長し合えることができました。附属札幌中学校での2年間は非常に大切に忘れられない時間です。附属札幌中学校での経験を生かし、今後も成長し続けていきます。

最後になりましたが、附属札幌中学校と生徒・保護者・職員の皆様のご健康とご発展を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

ありがとう



雨宮 かさね 講師

2年間という短い期間ではありましたが、非常勤講師として過ごしたこの2年間は、私にとって忘れられない時間になりました。学校生活に様々な制限があった2年間でしたが、そのような中でも前向きに取り組む子どもたちの姿や明るい笑顔にいつも支えられ、励まされていました。日々の学校生活や行事を通して、子どもたちとたくさん時間を共有することができたこと、本当にうれしく思います。この2年間で学ばせていただいたことや、たくさん思い出を糧に、これからも成長し続けていきたいと思っています。一緒に過ごしてくれた子どもたち、温かく見守ってくださった保護者の方々、2年間本当にありがとうございました。

濱 圭佑 講師

1年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。この1年間は新型コロナウイルス感染拡大によって先が見えない不安の中で過ごした1年間でした。しかし、学校に来ると子どもたちが明るく元気な声で挨拶してくれました。そして、子どもたちが楽しそうに学び合う姿を見たり、私自身も子どもたちと共に学び合ったりすることで不安ばかりであった日々の生活が楽しいものに変化していきました。春からは札幌市の中学校で勤務します。この学校で学んだ多くのことを生かして、これからの教員生活を歩んで行きたいと思っております。本当にありがとうございました。

秋元 風雅 講師

ふじのめ学級にて非常勤講師として働いておりました秋元風雅と申します。残念ながら、この3月をもって附属中学校を離れます。

この1年間、初めてのことでありかつという間に時間が経ち、昨年4月に着任し、緊張で胸いっぱいだったことがつい最近のように思い起こされます。

そんな1年間、思い返せばたくさんの思い出もでき、楽しく学校生活を送らせていただいたと強く思います。それは、附属中学校の生徒たちが明るく元気でなんでも頑張っていこうとする姿勢に、大きなエネルギーをもらっていたからです。ありがとうございました。保護者の方におかれましても、あたたかく見守っていただき大変ありがとうございました。1年間、お世話になりました。

佐藤 享 参事

この3月をもちまして附属札幌中学校から他の部署へ異動となりました。令和2年4月からの勤務でしたが、この2年間で自身の体力に老いというものを自覚させられました。

それでも、隣接する附属札幌小学校の元気な児童や日々成長する本校の生徒の様子を見ておきまして、皆さんからたくさんの元気をもらい努められたのかなと思い返しております。特に毎日朝・夕に事務の窓口で「おはようございます」「さようなら」と声をかけてくれた生徒さんには「たくさんの元気をもらい、ありがとうございました」と心から思っております。

保護者の皆様には、附属札幌中学校へのご支援、ご協力をいただきましたこと大変感謝しております。ありがとうございました。



根本 利雄 用務員

1年間の勤務でしたが、保護者の皆様、大変お世話になりました。学校に勤めるのは初めてで、子どもたちと過ごす毎日がとても楽しく充実しておりました。特に朝の挨拶がしっかりした子どもたちには、驚かされました。すれ違う時など、きちんと立ち止まってくれるお子さんもいて、とても清々しい気持ちにさせていただきました。素直な子どもたちと過ごす時間は私にとって楽しく充実した日々でした。その子どもたちを育まれた保護者の皆様には感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。

仙名 いく美 校務補

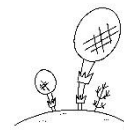
附属中学校の校務補として約4年間お世話になりました。直接生徒の皆さんと関わる機会は少なかったですが、元気いっぱいの笑い声や友達とのやりとり、積極的に行事に取り組む姿など、陰ながら見守らせていただき、とても幸せな毎日を過ごすことができました。

また保護者の方々には、PTAの活動などで大変お世話になりました。お話しさせていただく中で私自身、保護者の方々からも学ぶことがたくさんありました。これまで本当にありがとうございました。お子様の今後の健やかな成長をお祈り申し上げます。



<新年度当初の予定>

7日(木) 新任式・始業式	22日(金) 委員会・専門局会
8日(金) 第77回入学式	23日(土) 午前:部活動結成集会(希望者のみ参加) 午後:PTA・ふじづる総会、PTA学年委員会、 PTA常務委員会、PTA役員会
12日(火) 学級写真撮影 委員・専門局員選出 3学年PTA・学級PTA懇談会	25日(月) 教育相談①
13日(水) 3年学カテスト	26日(火) 合同体位測定 教育相談② 1年色覚検査
14日(木) 2学年PTA・学級PTA懇談会	27日(水) 教育相談③ 1年色覚検査
15日(金) 1学年PTA・学級PTA懇談会 尿検査一次	28日(木) 尿検査二次
19日(火) 全国学力・学習状況調査 前期承認式、委員会・専門局会	
20日(水) オンライン授業参観	
21日(木) 歯科検診	



※新年度の予定は変更する可能性があります。

【新型コロナウイルス感染症対策について】

今年度も新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただき、誠にありがとうございました。お陰様で、全学級がそろって修了式を迎えることができました。今後も十分に対策をした上で、可能な限りの教育活動を進めて参りますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。ご家庭におかれましても、対策を徹底していただければ幸いです。

なお、春季休業中に生徒が罹患した場合には、休日を除き本校までご連絡ください。

〈連絡先:778-0481〉